

平成23年度 学校通信

知多郡南知多町立師崎小学校

平成23年度 第31号

平成23年12月5日

電話 0569-63-0001

<http://academic3.plala.or.jp/morosho/>

くじら雲

夢をあきらめない 島袋勉さん講演会

義足を初めて見る子どもも多く、いろいろな質問が出ました。一つ一つ丁寧に答えていただきました。



義足を外して持たせてくれ、子どもと笑顔でふれ合ってくれました！その人柄に感動します



沖縄に住む社長さん、島袋さん。突如の事故、両足切断、記憶障害、視神経の異常…。そんな苦しみの中で、「あきらめない」習慣を作るために、マラソンに挑戦した体験を子どもたちに話してくれました。また、体育館を全力で走ってくれました。次の目標はエベレストに登ることと話す姿からも、「夢をあきらめずに困難を克服する努力を続ける大切さ」を教わりました。

12月5日 朝会にて

先週は、島袋さんの講演会がありました。初めて義足をみた人も多かったと思います。実は、島袋さんは師崎小のあと、午後到大井小に行って講演をしました。師崎に来る前日には広島県で2回、次の日には三重県で講演をしています。ホームページで調べたら11月で11回！そして沖縄で300km以上走る自転車のレースに出ています。10月にも千葉県で自転車のレースに出場しています。昨日は、沖縄のマラソン大会で42.195kmを走って

います。

すごいとしか言いようありませんね。マラソンや自転車レースのためには練習しなくてはいけないのに…。練習する時間を減らしても、自分の経験を生かしてみなさんに「あきらめない」大切さを伝えに来てくれるのです。

そういえば、10月にお話を聞いた大棟耕介さんは、サーカステントを用意し、地震にあった町をまわりパフォーマンスを披露しています。島袋さんも大棟さんも「人のために出来ること…」をやっているのですね。そんな生き方がとても輝いてみえますね。

☆文書でお知らせしましたが、荒井先生の復職により、二年生の担任が奥川先生から変更になりました。



学校の看板修理



本校への案内板が昨年度、倒れて割れていました。(詳しい原因は不明…)
この案内板は、平成21年2月に六八六九会の寄付によって建てられたものです。昨年度のP長さんの磯部さんが直してくださいました。ありがとうございます。

子育て支援地域交流会



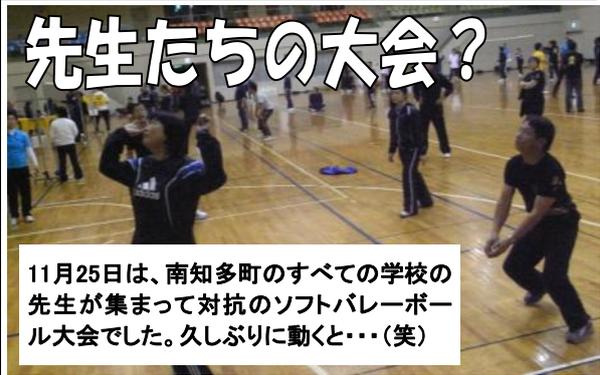
11月26日に美浜町の体育館で、知多地区で、PTAや学校、地域のボランティアなど、子育てに関係する団体が集まる会があり、参加してきました。そのオープニングを飾ったのが、上野間地区のお囃子でした。とても上手くて感動しました！地域の力はすごいですね。



ゴミについて

先日、体育館の南側、タイヤの山のあるところにあったゴミです。月曜日によく落ちています。しかも体育館の側溝に落としてあります。学校に遊びにくるのは大歓迎ですが、ゴミを落としていくのはマナー違反です。

先生たちの大会？



11月25日は、南知多町のすべての学校の先生が集まって対抗のソフトバレーボール大会でした。久しぶりに動くよ…(笑)

師崎のむかし話

大筒に化けた鐘 2

千賀志摩守は、家臣の者を集めて相談しました。

「大筒は、今後、大急ぎで鑄(い)させることにして、とりあえず鐘を大筒に見せかけてはいかがでしょうか。」

「鐘ならばさうとう大きな、文字どおり大筒になりましょう。そんな大筒が海をにらんでいると知ったら、きっと手出しはしますまいに。名案だと存じます。」

志摩守は、結局、この意見を取り入れて近隣の寺々から梵鐘や半鐘を持ち寄せ、羽

豆岬をはじめとして、海から見える沿岸各地に置かせました。船から陸地を見たとき、大きな砲口がいくつも船に照準を合わせているように見せかけようというのです。さらに、沿岸航路の安全を目当てに設置された大井の裏山の「烽火台」を使って危急の場合に援軍を求める烽火を上げる体制も整えました。今もこの烽火台は、大井の裏山の「のろし」というところに残っています。

また、もしも外人が上陸した時、に備えて、師崎・大井・豊浜などの沿岸民や農民に対して、竹やりによる民兵の特訓も行ったそうです。
(「知多半島の民話」編者吉田弘)